

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311
<https://japanphil.or.jp>

チケットご予約・お問い合わせ
[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911 (平日10時～17時)
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



日本フィルハーモニー交響楽団 〈こんな活動をしています〉

2024年度活動報告

「Triptyque トリptyーク第20号」

編集・発行 (公財)日本フィルハーモニー交響楽団 2025年7月
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311 www.japanphil.or.jp office@japanphil.or.jp



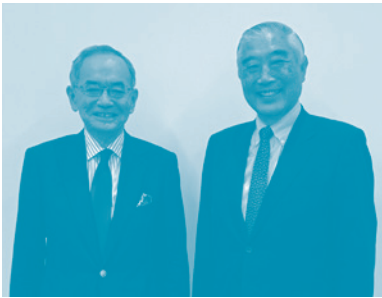
日本フィルハーモニー交響楽団

こんな活動をしています (2024年度活動報告)

Triptyque
Vol.20

このたび公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団は、新理事長として石塚邦雄氏を選任いたしましたことをお知らせ申し上げます。前理事長平井俊邦は、会長として引き続き楽団運営に携わってまいります。

今後とも何卒皆様のお引き立て、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



退任のご挨拶

このたび理事長を退任致しました。専務理事を通算すると18年、激動の中、皆様からの温かい支援の輪に助けられ、日本フィルの成長を見ることが出来ました。心より感謝申し上げます。

オーケストラの再建を使命付けられ専務理事に就任、「財政基盤の強化」「あくなき演奏力の向上」を経営目標に掲げ出発しましたが、多くの試練が待ち受けていました。まず債務超過からの脱出です。10年の歳月を要しました。リーマンショック、東日本大震災、新公益法人移行、コロナ禍等、次々と難問が押し寄せました。しかしその都度、楽団員の必死の努力に加え、人々の温かいご支援の輪が生まれ、奇跡とも思える復活を成し遂げることが出来たのです。日本フィルは幸せ者です。感謝の気持ちで一杯です。財政状況も強化され、ようやく経営も安定してきました。あくなき演奏力の向上については、アレクサンドル・ラザレフ、ピエタリ・インキネン、カーチュン・ウォン、小林研一郎、広上淳一、山田和樹の定期演奏会の常連指揮者陣の活躍により、演奏水準は目覚ましい飛躍を遂げたとの評価を戴いています。

社会からの要請に応える社会性活動も大きな発展

を見せています。とりわけ〃被災地に音楽を〃の活動は東日本大震災被災者に音楽を届け〃心の復興〃を支援する活動で、既に360回を超えました。「後藤新平賞」受賞が地道な活動に火を灯してくれましたが、その火は炎となり、岩手県・福島県との音楽文化・復興活動の連携協定へと広がっています。

日本フィルと共に過ごす中で、生の演奏が人の心を驚づかみにし、閉じていた心すら開かせる場面を見聞きしてまいりました。〃音楽のもつ力〃の強さ、大きさに導かれ今日を迎える事が出来たこと、心より感謝致します。

後任の理事長には経済界でも大きな足跡を残している石塚邦雄氏をお迎えいたします。卓越した手腕を持つ石塚新理事長を支え、日本フィルのさらなる飛躍を目指してまいります。これまで以上のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
会長 平井 俊邦

平井俊邦

就任のご挨拶

このたび平井俊邦氏の後任として理事長に選任され就任いたしました。皆様には日頃より日本フィルとその演奏を愛し、厚いご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

平井前理事長には激動の18年間を見事な統率力と見事な経営力で牽引され、日本フィルをさらなる高みへと導いていただきました。また、「被災地に音楽を」に代表される社会貢献活動は、今日、日本フィルの特別な使命にまで発展いたしました。

オーケストラの経営というものは決して一筋縄には行かないものと、理事長の重責に身の引き締まる思いでありますが、平井前理事長のご功績と熱意から大いに学び、努力して参りたいと存じます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚 邦雄

石塚邦雄

総括

2024年度は、コロナ禍後の「新しい世界と社会の変容」に適應すべく、芸術面の向上と社会性活動の充実を目指し、成果を上げることができました。

◆ 芸術性の追求

首席指揮者カーチュン・ウォンが就任2シーズン目を迎え、得意とするマーラー作品や、ライフワークである「アジアへの眼差し」が注がれた作品等を取り上げて「日本フィルらしい音楽の追求」に大きな成果を上げました。

中でも9月には生誕200年を迎えたブルックナーの交響曲第9番を、3月にはマーラーの交響曲第2番《復活》という大曲を取り上げ、異なる作風を持つ2人の作曲家を対置させながら、自身の持つ天性の感性と世紀末ヨーロッパの精神が響き合い、観客を深く魅了いたしました。マーラーの《復活》は、NHK『クラシック音楽館』で放送され、大きな反響を呼びました。カーチュン・ウォン×日本フィルのマーラーは、“聴きのがせないブランド”のひとつとして世の中に定着しつつあります。

また、長年に亘り、楽団の支柱として活躍する桂冠名誉指

◆ 社会性の拡充

東日本大震災発生から14年間続けて来た「被災地の音楽を」の活動は360回を超え、現在も継続的に行っております。岩手県に続き今年度は福島県とも「包括連携協定」を結び、避難指示の解除された南相馬市や双葉町でも室内楽やクリ

◆ 経営を振り返る

2024年度は、コロナが収束し、ようやく来場者数も増加に転じ、演奏収入は確実に増えました。一方で事業費の高止まりで経費の改善には課題を残すところもありますが、助成金・寄付金等の増加が寄与して、最終損益は黒字に転じるまで回復いたしました。

1956年に渡邊曉雄によって創設された日本フィルは、2026

Data 2024年度活動回数一覧

	主催	受託(共催含む)	計
オーケストラ公演	89	47	136
室内楽公演 (*「被災地に音楽を」)			183(*8)

Data 2024年度経営報告

1.貸借対照表

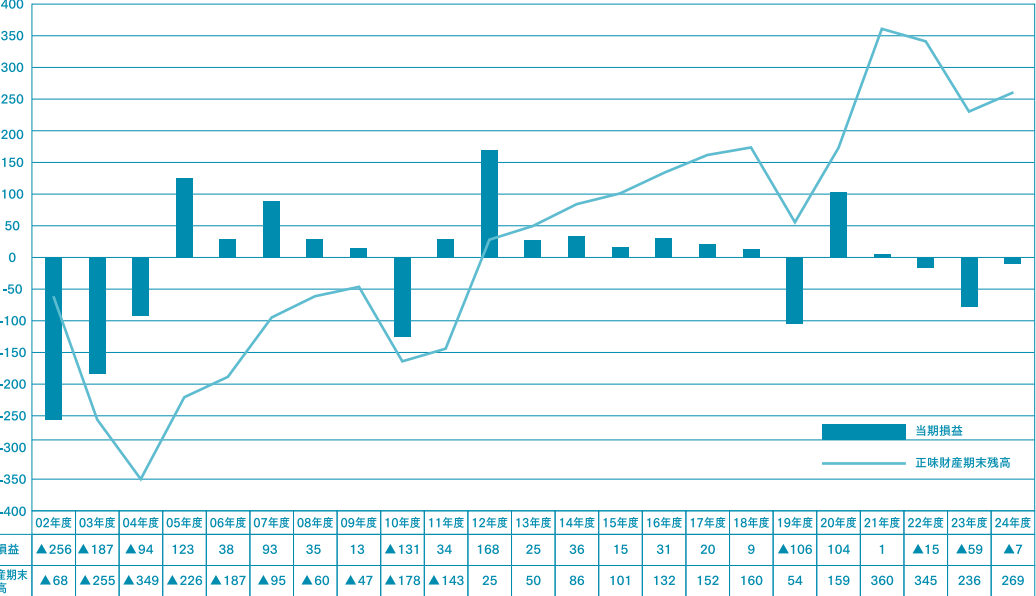
(2025年3月末現在、単位：千円)

科 目	金 額
I.資産の部	
1.流動資産	397,261
2.固定資産	474,046
資産合計	871,307
II.負債の部	
1.流動負債	246,286
2.固定負債	355,903
負債合計	602,189
III.正味財産の部	
正味財産合計	269,118
負債及び正味財産合計	871,307

2.正味財産増減計算書

科 目	金 額
経常収益	1,512,374
経常費用	1,524,598
経常外増減等	5,435
当期正味資産増	33,210

3.当期損益(正味財産ベース)/正味財産期末残高



揮者小林研一郎は、今期も変わらず多くの演奏会を指揮し、芸術性の弛まぬ追求と円熟味に満ちた演奏で多くのファンを虜にし、毎公演ほぼ完売という実績はその人気と存在感の大きさを物語っております。

フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一は、10月の演奏会でヴェルディの傑作“レクイエム”を指揮し、聴衆を興奮に導きました。また2025年4月のセミステージ形式のオペラ《仮面舞踏会》の準備に奔走し、いよいよ「オペラの旅」が始動するわくわく感を抱かせる年でありました。

また特筆すべきこととして、ファミリーコンサートの草分け的存在の「夏休みコンサート」と、九州全県をフル・オーケストラで廻る「九州公演」が、共に50年という節目の年を迎え、日本フィルの歴史に輝かしい功績として刻まれました。

ニックを催し、また今年度も「東北の夢プロジェクト」は盛岡市と郡山市の両市でオーケストラ公演を開催、地元の子供たちや多くの皆様との熱い交流を通じて未来への希望と活力をいただいてまいりました。

年に楽団創立70周年を迎えます。

70周年記念事業の成功につなげていくために、2025年9月から2026年3月をプレ70周年と位置づけて全力で記念事業の準備を進め、苦難の時代から長年日本フィルを応援してくださっている多くのファンの皆様方のご恩に報いてまいりたいと思っております。

Data 2024年度配信回数一覧

	公演数
有料配信	19

オーケストラ・コンサートの実施状況

2024年は、東京定期演奏会を20公演、横浜定期10公演、名曲コンサート6公演などの主催公演と、受託公演をあわせて136公演を実施いたしました。

『カーチュン・ウォン×日本フィル』の魅力を前面に打ち出し、日本フィルならではの個性を活かして、定期演奏会の聴衆拡大に取り組みました。また日本フィルと強い絆を持つ桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一をはじめ、山田和樹、下野竜也、大植英次、フランソワ・ルルーや1年半ぶりの登場となったピエタリ・インキネン等内外の著名かつ優れた指揮者たちとの共演を通して、幅広い芸術作品をお届けいたしました。

マエストロの解説付きの『コバケン・ワールド』や夏休みコンサートなどを開催し、芸術文化の普及にも積極的に取り組みました。点字プログラムの作成や託児付き公演を通じて、音楽を必要とする方々へのアプローチもしております。さらに、『東北の夢プロジェクト』などで、社会課題への具体的な取り組みも進めてまいりました。こうした活動を通じて、今後も新しいオーケストラ像の確立に向けて模索を続けてまいります。



首席指揮者
カーチュン・ウォン
©Ayane Sato



桂冠名誉指揮者
小林 研一郎
©山本 倫子



フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）
広上 淳一
©Masaaki Tomitori

主催演奏会

◆東京定期演奏会(サントリーホール、金曜日/土曜日2回公演)

首席指揮者就任2シーズン目となったカーチュン・ウォンとはマーラーの交響曲第9番(5月)、2番(3月)、ブルックナーの交響曲第9番(9月)を取り上げました。いずれも深い呼吸で紡がれた崇高な演奏が多くの聴衆を魅了し、指揮者とオーケストラが相乗効果を発揮しながら、互いの信頼関係が一層強くなったことを大いに感じさせる出来栄でした。

長年にわたり日本フィルの基柱である桂冠名誉指揮者小林研一郎は勿論のこと、フレンド・オブ・JPO（芸術

顧問）広上淳一や、下野竜也、大植英次、さらには海外で大活躍中の元正指揮者山田和樹、また外国人では前首席指揮者ピエタリ・インキネンやフランソワ・ルルー、日本デビューとなったパヴェウ・カプワなど、多彩なマエストロ陣が次々に登場し、どの演奏会でも素晴らしい音楽を皆様にお届けいたしました。

残念ながら、6月の東京定期演奏会に出演予定であった秋山和慶氏が共演が叶わぬまま、今年1月に亡くなられました。日本のクラシック音楽界にとっても大きな痛手でした。

	No.	出演	プログラム
4月	759	指揮：下野 竜也	【ブルックナー生誕200年】 シューベルト：交響曲第3番 ブルックナー：交響曲第3番（1877年第2稿ノヴァーク版）
5月	760	指揮：カーチュン・ウォン	マーラー：交響曲第9番 二長調
6月	761	指揮：大植 英次 ホルン：信末 碩才	ベルク：管弦楽のための3つの小品 （リーア編曲による室内アンサンブル版／日本初演） R.シュトラウス：ホルン協奏曲第2番 ドヴォルジャーク：交響曲第7番
7月	762	指揮：広上 淳一 ヴァイオリン：米元 響子	リゲティ：ヴァイオリン協奏曲 シューベルト：交響曲第8番《ザ・グレート》
9月	763	指揮：カーチュン・ウォン	ブルックナー：交響曲第9番（3楽章構成）
10月	764	指揮：小林 研一郎 ピアノ：高木 竜馬	ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ブラームス：交響曲第1番
11月	765	指揮・オーボエ：フランソワ・ルルー	ラフ：シンフォニエッタ （フルート：真鍋 恵子、難波 薫 オーボエ：フランソワ・ルルー、杉原 由希子 クラリネット：伊藤 寛隆、堂面 宏起 ファゴット：田吉 佑久子、大内 秀介 ホルン：信末 碩才、村中 美菜） メンデルスゾーン（タルクマン編曲）：《無言歌集》より（オーボエ独奏+弦楽合奏） メンデルスゾーン：交響曲第3番《スコットランド》
12月	766	指揮：パヴェウ・カプワ ピアノ：セドリック・ティベルギアン	ブラームス：ピアノ協奏曲第2番 シューマン：交響曲第2番
1月	767	指揮：山田 和樹 ヴァイオリン：周防 亮介	エルガー：行進曲《威風堂々》第1番 ヴォーン・ウィリアムズ：揚げひばり エルガー：交響曲第2番
3月	768	指揮：カーチュン・ウォン ソプラノ：吉田 珠代 メゾソプラノ：清水 華澄 合唱：東京音楽大学	マーラー：交響曲第2番《復活》

◆横浜定期演奏会(横浜みなとみらいホール、土曜日)

9月に400回を迎えた横浜定期演奏会は日本フィル指揮者陣はもちろんのこと、「輝け!アジアの星☆」第12弾や、横山幸雄の弾き振りによるオール・ショパン・プログラムなどバラエティに富んだプログラムをお届けいたしました。その中でも特に印象に残っているのは、2024年度で引退を表明した井上道義が日本フィルを

指揮する最後の舞台となった5月の公演です。マエストロの早すぎる引退を惜しむ多くのファンが会場に駆けつけ、ショスタコーヴィチを指揮し、満席の観客の大喝采を浴びました。

また楽員をもっと身近に感じていただこうと6月には小ホールで室内楽公演(クラリネット四重奏)を開催し、ご好評をいただきました。

	No.	出演	プログラム
4月	396	指揮・ピアノ：横山 幸雄	ショパン：《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 ショパン：アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ ショパン：ピアノ協奏曲第2番
5月	397	指揮：井上 道義 チェロ：佐藤 晴真	ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第2番 ショスタコーヴィチ：交響曲第10番
6月	398	指揮：小林 研一郎 ピアノ：エリソ・ヴィルサラゼ	ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 ベートーヴェン：交響曲第6番《田園》
7月	399	指揮：鈴木 優人 サクソフォン：上野 耕平*	トマジ：バラード サクソフォンと管弦楽のための* ピアソラ（啼鵬編曲）：《エスクアロ（鮫）》*／《オプリピオン（忘却）》*／《リベルタンゴ》* ベートーヴェン：交響曲第7番
9月	400	指揮：カーチュン・ウォン ピアノ：ゲルハルト・オピッツ	ブラームス：ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー：交響曲第4番
10月	401	指揮：出口 大地 チェロ：鳥羽 咲音	【輝け!アジアの星☆第12弾】 ハチャトゥリアン： バレエ音楽《スパルタクス》より「スパルタクスとフリーギアのアダージェ」 カバレフスキー：組曲《道化師》 チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》
11月	402	指揮：ピエタリ・インキネン ヴァイオリン：神尾 真由子	グlazノフ：ヴァイオリン協奏曲 R.シュトラウス：アルプス交響曲
12月	403	指揮：下野 竜也 ソプラノ：富平 安希子 メゾソプラノ：小泉 詠子 テノール：糸賀 修平 バリトン：宮本 益光 合唱：東京音楽大学	ニコライ：歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》
1月	404	指揮：藤岡幸夫 フルート：Cocomi	武満徹：組曲《波の盆》 モーツァルト：フルート協奏曲第2番 ルグラン：交響組曲《シェルブールの雨傘》
3月	405	指揮：小林 研一郎 ヴァイオリン：中野 りな	チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 リムスキー=コルサコフ：交響組曲《シェラザード》



▲1年半ぶりの登場となったピエタリ・インキネン



▲世界に羽ばたく山田和樹の帰還



▲アジア・デビューとなったパヴェウ・カプワ



▲井上道義との最後の公演

◆その他の主催演奏会

幅広い聴衆育成とクラシック音楽の普及を目指し、多彩な公演事業を行いました。
桂冠名誉指揮者小林研一郎との「コバケン・ワールド」や「第九特別演奏会」は、大変人気を博すシリーズとして定着しており、ほぼ全ての公演が満席となりました。

その他の主な共催事業

◆相模原定期演奏会

2024年度は、9月に原田慶太楼指揮、吉本梨乃（ヴァイオリン）を迎えて、モーツァルトとショスタコーヴィチの作品に加え、ヒグドンの日本初演を含むプログラムをお届けいたしました。また、12月には下野竜也指揮、伊藤恵（ピアノ）によるオール・ベートーヴェン・プログラ

た。他にも「名曲コンサート」、「芸劇シリーズ」、「特別演奏会」等を開催。1年半ぶりの登場となった前首席指揮者ピエタリ・インキネンの公演は、NHK-FM『ブラボー！オーケストラ』で放送されました。

ムを開催いたしました。

小田急線沿線でも随一の規模とクオリティを誇る「相模女子大学グリーンホール」の価値を改めて実感し、地域の文化振興に一層貢献できるよう、今後もホールとの連携を深めてまいりたいと考えております。

◆さいたま定期演奏会

奇数月および12月の「第九演奏会」の年7公演を行っています。3月の公演では、牧阿佐美バレエ団との共演により、名作バレエをソニックシティ版としてお届けするなど、幅広い取り組みにも挑戦しております。
今後も、埼玉ならではの視点を大切にしながら、ビギ

ナーの方にもわかりやすく楽しんでいただけるプログラム作りに努めてまいります。

また、「メンバーズTVUチャンネル」での配信も積極的に行っており、今年度も神川町と上里町でのライブビューイングを実施いたしました。

◆にじくら〜トークと笑顔と、音楽と

サントリーホールとの共催で2015年より継続している「とっておきアフタヌーン」は、2023年にブランドをリニューアルし、2024年には第2シーズンを迎えました。俳

優・高橋克典さんをナビゲーターに迎え、2時間構成のプログラムと出演者によるトークが定着。オルガンのプレコンサートも人気で、毎回ほぼ完売となるなど、大変好評をいただいております。

Data 2024年度オーケストラ公演の内訳

主催公演	公演数	入場者数(約)
東京定期	20	28,600
横浜定期	10	14,300
名曲コンサート	6	10,200
芸劇シリーズ	2	2,700
夏休みコンサート	18	24,000
「第九」特別演奏会	6	9,500
九州公演	9	11,500
その他	11	9,500
コバケン・ワールド	4	6,600
特別演奏会	3	3,500
計	89	120,400

受託公演	公演数
一般公演(共催含む)	32
音楽教室/学校公演	15
計	47



▲第255回芸劇シリーズ「作曲家坂本龍一〜その音楽とルーツを今改めて振り返る」(6月2日)



▲第九特別演奏会2024

社会への取り組み

◆エデュケーション・プログラムの実施状況

日本フィルの活動の特徴づける細やかで幅広いエデュケーション・プログラム。2023年に夏休みコンサートで公演前後のイベントや「みんなで歌おう」などが復活したのに続き、2024年は春休みオーケストラ探検でも楽器体験などの体験イベントが復活いたしました。

【夏休みコンサート】

50回を迎えた「夏休みコンサート」では、注目の作曲家信長貴富氏に記念のファンファーレを委嘱・初演し、ご来場のお客様にノベルティを配布するなど、これまでの感謝の気持ちを込めた特別な企画を実施いたしました。

今年も、第2部はバレエとピアノの2つのプログラムを用意し、お客様の多様なニーズにお応えいたしました。

開場時のロビーでのウェルカム・コンサートや、終演後のサイン会、懇談会といった交流イベントも大変好評で、ステージから飛び出した音楽家とのふれあいが子どもたちの心に深く響くことを、改めて実感する機会となりました。



©山回敦



©山回敦

【春休みオーケストラ探検《エデュケーション・フェスティバル in 杉並》】

杉並公会堂との共催で開催している《エデュケーション・フェスティバル in 杉並》は、2024年度で第16回を迎えました。今年は新型コロナウイルスの影響を受けることなく、多くの体験イベントも実施することができました。

楽器体験やワークショップなどを通じて、地元杉並を中心としたたくさん子どもたちやご家族にオーケストラをより身近に感じ、楽しんでいただくことができました。

今後も、クラシック音楽の楽しさや奥深さを広げる場として、充実したプログラムをお届けしてまいります。



©山回敦



©山回敦

【室内楽などによる取り組み】

◆オーケストラ公演との連携企画
「オケのテイキは、おもしろい」(ワークショップ)

◆自治体との連携：
杉並区小中学校出張音楽教室、さいたまプライマリーコンサート、杉並区×日本フィル友好提携30周年記念「わくわくクラシック」



▲オケのテイキは、おもしろい



▲杉並区×日本フィル友好提携30周年記念「わくわくクラシック」

【その他の活動】

◆文化庁主催「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」
◆「杉並区音楽鑑賞教室」(小中学生対象)

Data 2024年度エデュケーション・プログラム、その他の内訳

夏休みコンサート(主催)	18	職場訪問	なし	ワークショップ	10
春休みオーケストラ探検	2	60歳からの楽器教室	198	クリニック	5
学校・施設訪問コンサート	40	インターンシップ	20		
オーケストラたんけん隊	9	プレイベント	1		
公開リハーサル	4	プレトーク(オーケストラ・ガイド等)	30		

◆ リージョナル・アクティビティの実施状況

「温かさ、人に寄り添う」を特徴とした日本フィルならではのプログラムは、地域を音楽で豊かに活気あるものにし、さまざまな課題解決の一端を担ってまいりました。その需要がますます高まっていると感じられる中、これからも、社会の要請にこたえる活動に取り組んでまいります。

【 杉並区での活動 】

杉並区とは11月に友好提携30周年記念演奏会「わくわくクラシック」を共同主催により実施しました。また、杉並区・杉並公会堂・日本フィル3者の実行委員会で主催する杉並公会堂シリーズは、杉並公会堂改修閉館の影響で、例年の6回から2024年度は4回の縮小開催となりましたが、平日昼公演も含めて、好調でした。杉並公会堂での夏休みコンサート、3月の春休みオーケストラ探検も本拠地に相応しい充実した内容で行いました。

この他に区役所ロビーコンサート、杉並出張(室内楽)、公開リハーサルを実施、成人式(二十歳のつどい)や敬老会での演奏も行いました。再オープンしたセッション杉並ではワークショップや「60歳からの楽器教室(ヴァイオリン・チェロ)」を開始。西荻地域区民センターとの協働により実施している「60歳からの楽器教室(クラリネット)」も継続開催いたしました。

【 第50回九州公演 】

1975年にスタートした日本フィル九州公演が第50回という大きな節目の年を迎えました。その最大の特徴は、全地域で市民ボランティアによる実行委員会と日本フィルが、企画・宣伝・チケット券売・当日運営まで、全てにおいて協働して行っていることです。50年もの間毎年欠かさずコンサートを開催してきたのは実に驚異的で、多くの方々の熱い想いと活発な活動の積み重ね、そして日本フィルの演奏を心から待ち望み楽しんでくださる多くのお客さまのおかげで築かれた歴史です。

公演を率いたのは首席指揮者カーチュン・ウォン。新時代の日本フィルサウンドを各地で響かせ衝撃と感動を巻き起こしました。また、仲道郁代(Pf)と宮田大(Vc)は、両名とも九州公演には過去にも何度かご出演され、聴衆と密接に通い合うこの公演の意義を深くご理解いただき、連日白熱の共演を繰り広げてくださいました。福岡と熊本はチケット完売、他地域も非常に多くのお客さまにご来場いただき、大歓迎ムードのなか全日程を終えることができました。

そして現在、地域の大人たちが熱意をこめて活動に取り組む様子に影響され共感し、新世代の大学生や実行委員のご家族の小中学生も活動に加わって、頼もしい若き文化の担い手が育っています。

この公演は、日本フィルを応援し関わったすべての方々の想いや行動が結実し、人々の人生や音楽の力で染め上げ、地域の文化的背景を築く大きな力を持つと確信した2週間でした。

- 第50回九州公演
- 2 / 8 (土) 長崎市民会館文化ホール
- 2 / 9 (日) 大牟田文化会館大ホール
- 2/11 (祝) 北九州ソレイユホール
- 2/12 (水) iichikoグランシアタ(大分市)
- 2/14 (金) 都城市総合文化ホール大ホール
- 2/15 (土) 宝山ホール(鹿児島市)
- 2/16 (日) アクロス福岡シンフォニーホール
- 2/18 (火) 佐賀市文化会館大ホール
- 2/19 (水) 熊本県立劇場コンサートホール

Data 杉並区との友好提携に基づく活動回数

杉並公会堂シリーズ [杉並区との友好提携による公演]	3
区役所ロビーコンサート	4
公開リハーサル	4
出張音楽教室	10
公募出張コンサート	4
区施設出張コンサート	10
小中学校音楽鑑賞教室(オーケストラ)	7
区内ホール等のリハーサル使用	36

Data その他杉並区での活動回数

春休みオーケストラ探検	2
杉並公会堂シリーズ [杉並公会堂(京王設備サービス)・日本フィル共催公演]	1
60歳からの楽器教室 [西荻地域区民センターとの共催]	198



▲指揮：カーチュン・ウォン[首席指揮者]



▲チェロ：宮田 大(長崎、大牟田、福岡、佐賀)



▲ピアノ：仲道 郁代(北九州、大分、都城、鹿児島、熊本)

【 宇部公演 】

「UBEクラシックコンサート」は、毎年恒例のUBE株式会社(旧宇部興産)の地域貢献活動として定着し、17回目となりました。

キャッチフレーズを「市民とともに、音楽とともに。」とし、次世代音楽文化振興事業として「子どもたちの教育」に視点を置き、前年度に引き続き、宇部市・山陽小野田市・美祢市の小中学生240名を無料招待いたしました。

指揮に大井剛史、フルートに高木綾子を迎えモーツァルトやJ.シュトラウスⅡ世作曲による親しみやすい名曲の数々をお楽しみいただきました。

本公演前日は山口大学医学部附属病院での弦楽四重奏「ふれあいコンサート」、および宇部市立中学校吹奏楽部への「音楽クリニック(主催：(公財)渡辺翁記念文化協会)」を開催。5年ぶりの対面開催となったクリニックは48名が参加いたしました。



▲第17回宇部興産チャリティコンサート

【 落合陽一×日本フィル プロジェクトVol.8《変幻する音楽会》 】

「テクノロジーによってオーケストラの楽しみ方を再構築する」というテーマのもと、メディア・アーティスト落合陽一の演出で2018年から継続している本プロジェクト。2024年度は東京、佐渡、那覇で3公演を実施。音楽を通した「喜びの共有」の機会を拡げました。実現にあたっては「日本博2.0(補助型)」の助成、佐渡市の共催(東京、佐渡)をいただきました。

Vol.8では、日本各地の優れた音楽・芸能にオーケストラが寄り添う日本探訪企画(承前啓後継往開来)第2弾として、佐渡の鬼太鼓と西洋のクラシックの融合する新作、藤倉大「Demon Dance」を委嘱初演しました。佐渡以外では体験の機会が極めて少ない鬼太鼓を広くご紹介する機会となりました。

佐渡公演では、地域の方が担い手として受け継いでいる鬼太鼓芸能の新しい表現を、そして佐渡市では機会の少ないクラシック公演を映像付きでお楽しみいただきました。

また、2023年度に続く那覇公演では、琉球古典音楽奏者、佐渡の鬼太鼓団体、そして琉球交響楽団と日本フィルメンバーのコラボレーションなど、多くの「音楽の繋がり」を創出しました。多くの企業・団体・個人の皆様からご支援を得て、音楽を介した繋がりが更に広がりました。



▲《変幻する音楽会》

【 音楽の楽しみを多くの人に広め、深める活動 】

日本フィルの特徴である「温かさ、人に寄り添う」を活かし、音楽の持つ楽しみをより多くの方に広め、また、聴き手の皆様により深く音楽を楽しんでいただくような取り組みを行いました。

主催公演での託児サービス、ハンディキャップを持つ方のための割引や若い世代のための料金の設定、演奏会場でのプレトーク、アフタートーク等も継続しております。特に夏休みコンサートでは、はじめてオーケストラを体験する子供たちのために、目の前で演奏が見られるウェルカム・コンサートや質問ができる「こんだん会」、サイン会など、より身近に感じていただける仕掛けを

沢山用意しております。

九州公演でも地元出身楽員によるウェルカム・コンサート、指揮者やソリストのサイン会、実行委員との交流会も開催され、多くの参加者を集め盛況でした。

また、オーケストラに興味を持っていただけるように、Instagram、X、YouTubeで「2分でわかる大人のためのオーケストラ入門」を毎月2回配信。さらに、東京定期演奏会を中心に、メンバーズTVUチャンネルで演奏会のライブ＆アーカイブ配信を行い、オーケストラの新しい楽しみ方を提供しております。

Playback

プレイバック

2024年度



PHOTO 1 明日へ響け!オーケストラ・コンサート2024in 南相馬。東日本大震災以降、幾度となく訪問してまいりましたが、念願かなって初めてのオーケストラ公演が実現しました(4月)



PHOTO 2 首席指揮者カーチュン・ウォンとはやくもマーラー9番に挑みました(5月)



PHOTO 3 6月東京定期演奏会でソリストを務めた首席ホルン奏者信末碩才をホルンセクションで囲んで記念撮影(6月)



PHOTO 4 2回目となる《横浜アンサンブル・ワンダーランド》は、日本フィルクラリネット4人の「JPO Quatre Homme plus」による公演でした(6月)



PHOTO 5 50回を迎えた夏休みコンサート2024。今年も上原彩子さんによるピアノとスターダンサーズ・バレエ団によるバレエの選べるプログラム(7月)

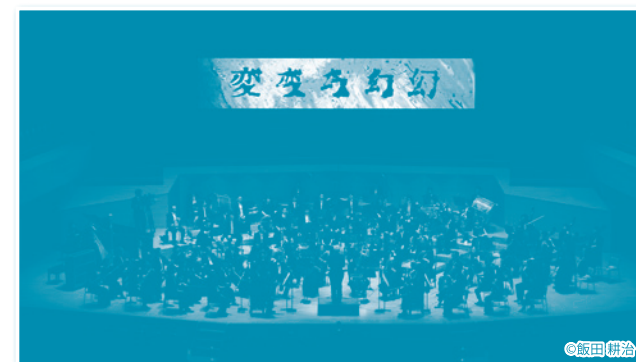


PHOTO 6 落合陽一×日本フィルプロジェクト第8弾は、《変幻する音楽会》(8月)



PHOTO 7 祝・400回目の横浜定期演奏会。ソリストのゲルハルト・オピッツ(Pf)を囲んで(9月)

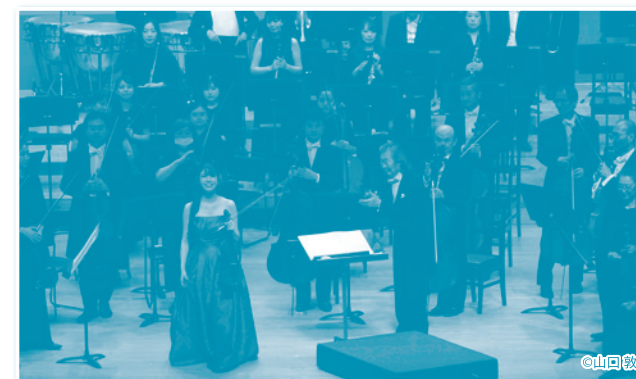


PHOTO 8 毎回大人気の小林研一郎によるコバケン・ワールド。ソリストは高木凜々子(Vn)(9月)



PHOTO 9 フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一とのヴェルディのレクイエム。日本フィル協会合唱団の迫力ある歌声が響きました(10月)



PHOTO 10 前首席指揮者ピエタリ・インキネンが日本フィルの指揮台に帰ってきました。NHK-FM『ブラボー!オーケストラ』でO.A.(11月)



PHOTO 11 元正指揮者山田和樹とのイギリス・プログラム。ソリストの周防亮介(Vn)とコンマスの扇谷泰朋と(1月)



PHOTO 12 50回を迎えた九州公演を率いたのは首席指揮者カーチュン・ウォン。宮田大(Vc)、仲道郁代(Pf)とご一緒しました(2月)

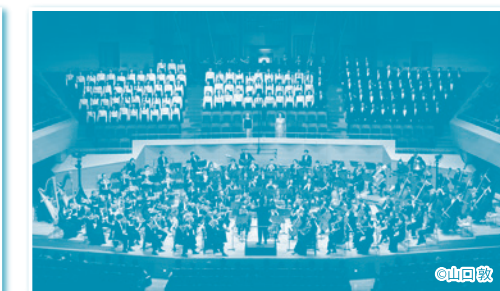
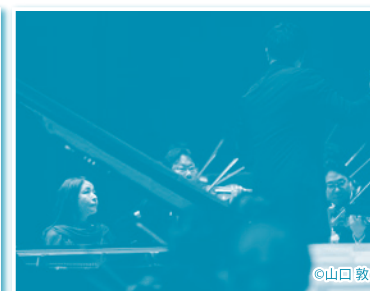


PHOTO 13 首席指揮者カーチュン・ウォンとの待望のマーラー《復活》(3月)

「被災地に音楽を」と「東北の夢プロジェクト」 (被災地におけるリージョナル・アクティビティ)

◆ 被災地に音楽を

東日本大震災から14年目となる2024年度は、昨年度に開始した福島県双葉町と岩手県陸前高田市、そして震災後に活動を続けてきた福島県南相馬市に室内楽で訪問いたしました。「被災地に音楽を」の活動は2024年度までを数え延べ360回となりました。

陸前高田市では、高田高校の吹奏楽部やコーラス団体と協力してコンサートを成功させるなど、地域との一体感を感じるコンサートを作り出しました。

福島県双葉町は原発事故による避難指示解除から2

◆ 東北の夢プロジェクト

2019年から継続している「東北の夢プロジェクト」では、協定を結ぶ岩手県盛岡市と福島県郡山市で本公演を実施、また岩手県宮古市、岩手県葛巻町、福島県田村市では共演団体との事前交流事業を実施いたしました。また新規の事業として、東北地方沿岸の文化施設と共同で有料のオーケストラ公演を開催する「明日へ

◆ 東北の夢プロジェクト2024



▲楽しいオーケストラin岩手



▲楽しいオーケストラin福島共演者交流セレモニー



▲葛巻神楽「鶏舞」(葛巻町立葛巻中学校)



▲請戸の田植踊(請戸芸能保存会)



▲4校合同「つながる」絆合唱団(岩手県立久慈高校、宮古高校、釜石高校、高田高校)

◆ 被災地に音楽を



▲田村市立船引中学校吹奏楽部



▲福島調印式

年が経過していますが、人口の回復がまだまだ進まない中、浅野燃系の工場内でのコンサートを実施しました。初めて町長が来場するなど、地域との連携が進んでおります。

また、2023年度に連携協定を結んだ岩手県に続き、2024年度は福島県と「包括連携協定」を結びました。その一環として会津若松市吹奏楽アカデミーの指導、東日本大震災追悼復興祈念式での演奏を行いました。

響け!オーケストラ」を南相馬市民文化会館「ゆめハット」で実施し、ファミリー向けの2公演を初開催いたしました。

被災地におけるこれらの活動では、2023年度から2025年度まで採択を受けた「新たなオーケストラ支援事業」の助成金を活用しております。

サポート

2024年度も、法人寄付、個人寄付共に多大なるご支援をいただき深く御礼申し上げます。

日本フィルは、通常、年間約150回におよぶオーケストラ公演に加え、約200回にわたる室内楽の演奏活動も行っています。また学校や福祉施設への訪問演奏や創作ワークショップなどを通じたエデュケーション・プログラム、全国各地で長年続けている地方公演や杉並区を本拠地とした地域密着の取り組みにより、さまざまなコミュニティの活性化にも力を注いでおります。特定のスポンサーを持たない日本フィルがこれらの活動を継続・充実させるためには、経済基盤を安定させることが最重要課題と位置づけ、基礎収入の増収、基礎支出の削減に引き続き務めてまいりました。

これからもより充実した、そして社会の要請におこたえできるオーケストラを目指してまいります。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

<個人ご支援>

個人の皆様からは「日本フィル・パトロネージュ(個人寄付会員)」「日本フィルハーモニー協会」「日本フィル・サポーターズクラブ」といった様々な会員制度によるご支援をいただきました。

2024年度ご支援総計 109,642,365円

※パトロネージュ、日本フィル協会維持会員の皆様のご芳名はp16-17に掲載致しました。

<企業・団体ご支援>

企業法人・団体の皆様からは「特別会員」「九州特別会員」(いずれも寄付会員)をはじめ、継続的なご寄付をいただくと共に、活動全般に対するご寄付もいただきました。また、演奏会等の事業では、東京定期演奏会をはじめとする主催演奏会への協賛(冠協賛、広告協賛)をいただきました。

2024年度 協賛企業ご芳名

ウエルシアホールディングス株式会社/株式会社ウテナ/エレコム株式会社/沖縄美ら島財団/株式会社オービック/鹿島建設株式会社/京王電鉄株式会社/株式会社興建社/佐渡汽船株式会社/山九株式会社/株式会社ジンテック/全国保証株式会社/大栄不動産株式会社/株式会社チャイルド社/千代田化工建設株式会社/株式会社東北博報堂/株式会社日清製粉グループ本社/根本特殊化学株式会社/ハウス食品グループ本社株式会社/非破壊検査株式会社/ホッカンホールディングス株式会社/丸美屋食品工業株式会社/三井不動産株式会社/三菱製紙株式会社/三菱UFJニコス株式会社/UBE株式会社/株式会社ミライト・ワン/武蔵商事株式会社/株式会社ヤクルト本社/ローム株式会社

※ご寄付を賜りました企業ご芳名はp14-15に掲載致しました。

<補助金・助成金・事業委託、共催>

2024年度も「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」対象団体として採択され、東京定期演奏会、横浜定期演奏会に補助金をいただきました。また、九州公演、落合陽一×日本フィルプロジェクトも補助事業として実施しました。公的補助のほかにも各種助成団体からも多大な助成をいただきました。

2024年度公的助成総計 245,788,525円

2024年度民間助成総計 64,830,000円

<公的補助>独立行政法人日本芸術文化振興会「文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業))」(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))」令和6年度日本博2.0事業(補助型)(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)

<公的助成>日本芸術文化振興会「新たなオーケストラ支援事業」(公益財団法人上廣倫理財団の寄付による事業)

<民間助成>公益財団法人朝日新聞文化財団/公益財団法人アフィニス文化財団/公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション/渡辺翁記念文化協会(50音順)

<事業委託>文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」

<音楽音源事業並びに物品販売>

コンサート会場に来られない方々にも演奏を届けるために行っているCD等の録音物の制作と販売、普及事業を継続しました。オリジナルレーベル「JPO RECORDINGS」によるCD制作および配信事業は、東京定期演奏会よりシベリウス:クレルヴォ、R. ショトラウス:ホルン協奏曲第2番(配信のみ)、夏休みコンサート、九州公演に向けた2タイトルを新規リリース。九州公演に向けての新制作アイテム「マルケヴィッチ:展覧会の絵ほか」はレコード芸術推薦盤に選定されるなど、レーベルの認知と評価は定着しつつあります。ライブ演奏の音源/映像の2次使用については、「コスモプラネタリウム渋谷」との共同企画・商業音源提供によるオリジナル番組(2022年10月〜)が現在も各地で継続的に活用されており、今後も実演に次ぐ演奏コンテンツの積極的活用を進めてまいります。

● 2024年度の制作アイテム

演奏会のライブ録音CD/配信「JPO RECORDINGSレーベル」計3点、オリジナルTシャツ、オリジナルカレンダー(全国カレンダー展入選)。配信84タイトル(2024年度新規4タイトル)。

2024年度グッズ・音源販売収入 23,824,437円

ご寄付いただいた企業のみなさま

〔 東京特別会員、九州特別会員（一部個人含む）、活動へのご寄付他 〕

(50音順・敬称略)

株式会社IDホールディングス
アイング株式会社
赤坂維新號
あすか製薬株式会社
株式会社アトックス
株式会社アドバンス都市開発
株式会社アドービジネスコンサルタント
株式会社有明新報社
イーソリューションズ株式会社
株式会社泉商会
株式会社泉放送制作
有限会社和泉屋
磯野不動産株式会社
稲貝興産株式会社
稲畑産業株式会社
井上歯科医院
株式会社インフォーマート
株式会社内田洋行
内野株式会社
宇部エクシモ株式会社
株式会社AIT
ABCシステム株式会社
株式会社エイブル＆パートナーズ
医療法人 江上耳鼻咽喉科医院
株式会社エヌエフホールディングス
NGB株式会社
株式会社エムジーケイ
株式会社エルイーテック
税理士法人エルビーエー
エレコム株式会社
医療法人社団桜珠会 可也病院
株式会社大分銀行
大分県医療生活協同組合
株式会社大分放送
大口酒造株式会社
株式会社大場造園
岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社
小川香料株式会社
小野塾
株式会社ONODERA GROUP
公益財団法人オリックス宮内財団
株式会社カカクコム
公益社団法人鹿児島共済会南風病院
株式会社鹿児島銀行
鹿島建設株式会社
鹿島建物総合管理株式会社

鹿島道路株式会社
株式会社カナック企画
株式会社カナデン
株式会社 歌舞伎座
株式会社ガモウ
社会医療法人河北医療財団
川北電気工業株式会社
川谷医院
看公税理士法人
医療法人起生会 林内科胃腸科病院
北野建設株式会社
キッコーマン株式会社
キャノン株式会社
キュービー株式会社
株式会社共同
共和建物管理株式会社
株式会社協和日成
キリンホールディングス株式会社
株式会社きんでん
草木饅頭有限会社江口栄商店
学校法人 熊本壺溪塾学園
株式会社熊本日日新聞社
株式会社熊本放送
医療法人九曜会こが内科こどもクリニック
株式会社九曜社
久留米第一法律事務所
グローブシップ株式会社
京王重機整備株式会社
株式会社京王設備サービス
京王電鉄株式会社
社会医療法人敬和会 大分岡病院
株式会社小泉
晃榮住宅株式会社
社会医療法人弘恵会 ヨコクラ病院
株式会社興建社
コーザイ株式会社
甲宗八幡神社
株式会社講談社
生活協同組合コープかごしま
生活協同組合コープみやざき
株式会社小島新太郎商店
医療法人五秀会 末永産婦人科麻酔科
医療法人こだま小児科
株式会社コバヤシ
コンパッソ税理士法人
株式会社コトブキ
株式会社コンサートサービス

株式会社佐賀銀行
薩摩酒造株式会社
佐藤製薬株式会社
三機工業株式会社
山九株式会社
医療法人三成会藤善整形外科
サントリーホールディングス株式会社
三洋貿易株式会社
サンワテクノス株式会社
医療法人CLSすがはら
ジューエルサイエンス株式会社
ジェネロ株式会社
株式会社慈恵実業
穴倉渉税理士事務所
自然庵
株式会社じほう
清水建設株式会社
シャボン玉石けん株式会社
株式会社集英社
株式会社シェルター
医療法人秀康会 ましきクリニック耳鼻咽喉科
社会医療法人春回会 井上病院
浄土真宗本願寺派無量山西導寺
ショーボンドホールディングス株式会社
公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院
株式会社ジャックス
医療法人社団仁愛会中村医院
株式会社ジンテック
株式会社進藤木材店
医療法人 信和会
菅田スミ子
杉山商事株式会社
住友ベークライト株式会社
株式会社スプリックス
医療法人誠和会河野レディースクリニック
株式会社セフティハウス
全国保証株式会社
税理士法人創研
株式会社総本家黒田家
第一倉庫株式会社
株式会社泰秀
大正製薬株式会社
大同生命保険株式会社
大日本除虫菊株式会社
大隆工業株式会社
大和製罐株式会社
高砂熱学工業株式会社

有限会社但馬屋老舗
立花税務会計事務所
TANAKEN株式会社
千歳コーポレーション株式会社
千代田化工建設株式会社
株式会社千代田テクノル
塚本總業株式会社
靄 知光
ディアンドデパートメント株式会社
学校法人帝京大学
株式会社T&Aマネジメント
THK株式会社
手島薬品株式会社
株式会社テレビ熊本
株式会社電通
東亜建設工業株式会社
株式会社東急コミュニティー
学校法人東京音楽大学
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社東京交通会館
東京美装興業株式会社
医療法人藤溪会 藤野医院
東洋熱工業株式会社
戸田建設株式会社
トヨタカラー鹿児島株式会社
株式会社トヨタレンタリース鹿児島
株式会社永田音響設計
株式会社永谷園ホールディングス
株式会社ナミギ
南洲税理士法人
日鉄興和不動産株式会社
株式会社ニフコ
日本精工株式会社
日本製鉄株式会社
日本電子株式会社
日本パーカライジング株式会社
株式会社ネイチャーズウェイ
根本特殊化学株式会社
パイオニア株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
株式会社博報堂
迫 龍二
株式会社バッファロー
ハナマルキ株式会社
阪和興業株式会社
税理士法人ヒイラギ
東日本住宅株式会社
東 義秀
株式会社肥後銀行
株式会社美禰
非破壊検査株式会社

ひびき・パース・アドバイザーズ
税理士法人ひまわりFC
ひまわり音楽ホール
株式会社ファミーユ
医療法人 深川皮膚科
公益社団法人福岡医療団
株式会社福岡リムジンサービス
富国生命保険相互会社
富士テレコム株式会社
古河産業株式会社
古川 康
フンドーキン醤油株式会社
平和電業株式会社
株式会社別大興産
合同会社ベルファーマシー
株式会社ボーラ・オルビスホールディングス
保険ネットワーク有限会社
ホッカンホールディングス株式会社
株式会社ボニーキャニオン
ホンダカーズ佐賀株式会社
本坊松栄株式会社
前田 憲徳
株式会社牧野フライス製作所
マネックスグループ株式会社
株式会社丸井グループ
株式会社丸の内よろず
丸文株式会社
丸美屋食品工業株式会社
株式会社三井住友銀行
三井倉庫ホールディングス株式会社
三井不動産株式会社
三菱HCキャピタル株式会社
三菱オートリース株式会社
三菱ガス化学株式会社
三菱地所株式会社
三菱重工業株式会社
三菱倉庫株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
株式会社南日本放送
株式会社ミヤデン
医療法人 産科・婦人科 宮原クリニック
武蔵商事株式会社
明治安田生命保険相互会社
社会福祉法人明澈会
医療法人明徳会 佐藤第一病院
株式会社明和住販流通センター
メッドサポートシステムズ株式会社
株式会社メディアグラフィックス
森社会保険労務士事務所
株式会社ヤクルト本社

八代綜合法律事務所
山崎製パン株式会社
UBE株式会社
ユウキフーズシステム株式会社
医療法人 友和会
株式会社夢織
横河電機株式会社
医療法人よつば会今村小児科アレルギー科
米持建設株式会社
リガク・ホールディングス株式会社
株式会社リョーサン
株式会社Rings
株式会社リンレイ
社会福祉法人 麗風会
税理士法人れいめい
ローム株式会社
社会福祉法人若楠
渡辺医院

他 匿名

パトロネージュ[個人寄付] 会員ご芳名

(2025年6月10日現在・50音順・敬称略)

会田 雅美 東京都	内村 恒彦 神奈川県	河田 義宏 東京都	新庄真帆子 大阪府	徳田 陽一 東京都
青山やすし 東京都	江口 麗子 東京都	菅野 治幸 神奈川県	晋友会合唱団	外山 雄三 東京都
秋元 和美 東京都	大久保 昇 神奈川県	菊池 和美 東京都	東京都	中尾 誠利 神奈川県
明田 重樹 東京都	大竹 広明 神奈川県	喜多毘久江 東京都	菅 千太郎 東京都	ナガオカケンメイ 東京都
浅野 純次 埼玉県	太田 五郎 神奈川県	北村 篤嗣 埼玉県	杉本 功 東京都	中島 奈穂 東京都
朝吹 英和 東京都	太田 達男 千葉県	北村 裕 神奈川県	杉山 秀子 東京都	中島美知子 東京都
厚田 理郎 東京都	大塚 宣夫 東京都	木下 盛弘 東京都	杉山 浩明 東京都	長瀬 雅則 東京都
阿部 俊彰 神奈川県	大坪 昌広 東京都	木村 恵司 神奈川県	鈴木 祐二 東京都	中園 和博 東京都
新井 康允 神奈川県	大森 京太 東京都	草刈 隆郎 東京都	住野 公一 東京都	中西 祥子 東京都
荒木 秀隆 東京都	岡田 尚子 埼玉県	久野 哲男 千葉県	関 兼英 東京都	永野 琢夫 東京都
荒蒔康一郎 東京都	岡田 雅史 神奈川県	久保田伸一 群馬県	妹尾 絲子 東京都	中村 公一 東京都
有江 純子 神奈川県	荻窪祝祭管弦楽団	倉谷 宏樹 東京都	仙石 通泰 東京都	中村 禎良 東京都
安西祐一郎 東京都	東京都	栗原真知子 埼玉県	宗 神子 大分県	那須 雄治 東京都
飯田 桂子 東京都	尾澤 弘久 神奈川県	畔柳 信雄 東京都	染野 郁郎 東京都	棗 年紀・綾 東京都
飯田 百栄 東京都	尾上 洋子 東京都	甲賀 一宏 埼玉県	空田 幸徳 東京都	新倉 啓介 東京都
家近 茂 東京都	小野寺けい子 岩手県	胡口 靖夫 東京都	高井 延幸 神奈川県	西澤 豊 東京都
家近 信子 東京都	小野寺健一 岩手県	小林 和夫 東京都	高木 宏忠 東京都	西谷 公男 東京都
五十嵐重雄 東京都	小幡 尚孝 東京都	小林 こずえ 東京都	高須 幸雄 東京都	西村 醇子 神奈川県
池浦 慧 東京都	小原 道生 東京都	小林 裕美 東京都	高田 信子 東京都	二村 英之 東京都
池田 博 東京都	折田 昌子 東京都	駒見 俊彦 東京都	竹中富知男 東京都	布村 清美 東京都
池野 隆光 東京都	風間 沙織 神奈川県	五味 康昌 神奈川県	田中稀一郎 東京都	沼口 順子 東京都
池谷 光司 東京都	賀澤 裕三 福島県	齋藤 共子 神奈川県	田仲 博幸 東京都	根本 直之 千葉県
石澤 卓志 千葉県	鹿島 英裕 東京都	坂井 康柄 神奈川県	田中 將介 神奈川県	野谷 文昭 東京都
石塚 邦雄 東京都	片貝 英重 東京都	定形 哲 神奈川県	田辺三基男 東京都	箱崎 一彦 千葉県
石津 寿恵 東京都	片山 英二 東京都	佐藤 武男 東京都	田村 一 山梨県	蓮見 正純 東京都
石橋 秀雄 神奈川県	片山 茂 千葉県	佐藤 寛之 東京都	田村 浩章 東京都	濱田 尚人 東京都
伊藤 貴博 東京都	桂 史子 東京都	佐藤 正昭 東京都	塚本 和久 東京都	原 俊 千葉県
伊藤 昌司 東京都	加藤 壹康 静岡県	佐藤 正知 東京都	辻 雅夫 東京都	原 幸男 静岡県
伊藤 好彦 東京都	加藤 丈夫 東京都	佐藤 順英 福島県	薦井 厚伸 東京都	針谷 博史 東京都
井上 直人 東京都	加藤 久喜 東京都	座間 淑美 神奈川県	津田 義久 東京都	日高 好男 東京都
井上 浩良 東京都	加藤 頼宣 東京都	澤井 敏雄 東京都	常石 博之 東京都	平井 邦子 神奈川県
岩瀬 順子 神奈川県	金子 修 埼玉県	島田 精一 東京都	積田 孝一 東京都	平田 邦夫 神奈川県
岩田 達明 神奈川県	金子 清 千葉県	島田 晴雄 東京都	一般社団法人	平田 正 神奈川県
上田 泰邦 東京都	金子 肇 千葉県	清水 幸雄 東京都	東京フロイデ合唱団	平林 直哉 東京都
上野悦子・陽子 東京都	上條 貞夫 東京都	下河辺美知子 神奈川県	東京都	広瀬 勝貞 大分県
宇賀神裕子 神奈川県	香山 和子 神奈川県	下田 英一 東京都	東瀬 朗 新潟県	広瀬 晴子 神奈川県
臼井 潤 東京都	川合 孝一 千葉県	生島 貴司 千葉県	時枝 直満 東京都	廣田 直人 東京都

深沢 茂実 神奈川県	松村 美希 東京都	森田ハルヨ 東京都	山本 棟子 東京都	渡邊 裕志 山口県
深見 敏正 東京都	真野美千代 東京都	矢口 敏和 千葉県	油井 直次 東京都	Maru
福井 英次 東京都	三木恵美子 神奈川県	矢倉 俊紀 東京都	横川 直 東京都	M.K
福田 昭夫 東京都	三木 繁光 東京都	山上 典彦 東京都	吉江 健志 千葉県	
藤井 裕一 東京都	峯島 茂之 東京都	山口 幸子 東京都	吉川 美保 東京都	匿名67名
藤沢 薫 東京都	宮本 裕二 兵庫県	山口 仁栄 東京都	吉田 知世 東京都	
藤原 真也 東京都	村上 純子 埼玉県	山口 岳彦 栃木県	吉谷恵美子 神奈川県	
星 桂太郎 東京都	村上 洋美 東京都	山口 達之 長崎県	吉谷由美子 神奈川県	
細谷 義徳 千葉県	村上 泰郎 東京都	山口みどり 東京都	吉村 真幸 埼玉県	
牧野 澄夫 東京都	持田 泰 東京都	山越 章弘 長野県	吉村 匡則 東京都	
増井 俊之 神奈川県	元永 徹司 神奈川県	山田 敏之 神奈川県	若林 昭子 東京都	
増田 文彦 神奈川県	森 稔樹 神奈川県	山田 宏己 東京都	渡辺 和子 東京都	
松尾 東京都	森川 智之 神奈川県	山村 美絵 東京都	渡邊規久雄 東京都	
松田 護 東京都	森田 大輔 神奈川県	山本 高稔 東京都	渡邊 直 東京都	

日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名

(2025年4月1日現在・50音順・敬称略)

青木 孝	海野 尚久	北宮千恵子	下山 泰彦	東保裕の介	早川征一郎	皆川 文弘
青木 隆	大塚 宏二	木村 繁	菅原 章文	富澤 裕	深沢 茂実	三好 敦生
赤星 弥生	小田倉 正	倉田 茂	鈴木 重行	富田 節子	藤井 行雄	渡辺 勝次
荒井 隆志	柏崎 和枝	蔵貫 義朗	鈴木 富美	永井 福枝	藤川 寿彦	渡辺 政則
新井 雅子	鹿島 道	斎木 典子	住江 慶子	長沢 光子	藤村 文二	
有田 正治	加藤 明	坂本 博志	隅田 真	永田 康	古川 武志	
石田 尚身	金本 順子	相良 幸男	高津 正徳	中山 泰子	古瀬 明弘	
石田 英雄	神谷 薫	佐藤 安雄	武井 新	野中 和行	本堂 毅	
伊藤 正明	萱場 基	澤口佳乃子	田中 諄	羽田 洋子	増田 文彦	
岩崎 貞明	岸田 正博	清水 浩憲	坪井 憲治	羽生 賢次	松井 務	

- ◆ 創立指揮者

渡邊 暁雄
- ◆ 桂冠名誉指揮者

小林 研一郎
- ◆ 名誉指揮者

ルカーチ・エルヴィン
- ◆ 名誉指揮者

ジェームズ・ロッホラン
- ◆ 客員首席指揮者

ネーメ・ヤルヴィ
- ◆ 首席指揮者

カーチュン・ウオン
- ◆ 桂冠指揮者 兼 芸術顧問

アレクサンドル・ラザレフ
- ◆ フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)

広上 淳一

(2025年7月)

ソロ・コンサート マスター

扇谷 泰朋



ソロ・コンサート マスター

木野 雅之



ソロ・コンサート マスター

田野倉 雅秋



アシスタント・コンサートマスター

千葉 清加



第1ヴァイオリン

伊藤 太郎



第1ヴァイオリン

太田 麻衣



第1ヴァイオリン

九鬼 明子



第1ヴァイオリン

齋藤 政和



第1ヴァイオリン

榊 渚



第1ヴァイオリン

竹歳 夏鈴



第1ヴァイオリン

谷崎 大起



第1ヴァイオリン

田村 昭博



第1ヴァイオリン

中谷 郁子



第1ヴァイオリン

西村 優子



第1ヴァイオリン

平井 幸子



第1ヴァイオリン

本田 純一



第2ヴァイオリン

遠藤 直子



第2ヴァイオリン

大貫 聖子



第2ヴァイオリン

岡田 紗弓



第2ヴァイオリン

神尾 あずさ



第2ヴァイオリン

佐藤 駿一郎



第2ヴァイオリン

末廣 紗弓



第2ヴァイオリン

豊田 早織



第2ヴァイオリン

町田 匡



第2ヴァイオリン

松川 葉月



第2ヴァイオリン

山田 千秋



客演首席 ヴィオラ

安達 真理



ヴィオラ

江藤 史織



ヴィオラ

小俣 由佳



ヴィオラ

小中澤 基道



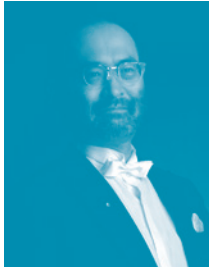
ヴィオラ

児仁井 かおり



ヴィオラ

高橋 智史



ヴィオラ

中川 裕美子



ヴィオラ

中溝 とも子



ヴィオラ

松澤 稚奈



ソロ・チェロ

門脇 大樹



ソロ・チェロ

菊地 知也



チェロ

石崎 美雨



チェロ

伊堂寺 聡



チェロ

江原 望



チェロ

大澤 哲弥



楽団紹介



A black and white portrait of a woman with dark, wavy hair, smiling slightly. She is holding a double bass (upright bass) and her hand is visible on the strings. The background is dark and out of focus.



Dr. Yoko Kikuchi
 Director, Center for the Study of Women and Gender
 Associate Professor of Psychology
 University of California, San Diego


 A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a white shirt, a white bow tie, and a dark tuxedo jacket. He is looking directly at the camera with a slight smile. The background is dark and out of focus.

Dr. Y. H. Zhang
 Associate Professor
 School of Chemical Engineering
 Beijing University of Aeronautics and Astronautics
 Beijing, China



A black and white portrait of a man with a beard and mustache, wearing a tuxedo and a bow tie. He is holding a trumpet, which is visible in the lower left corner of the frame. The background is dark and out of focus.

A black and white portrait of a young man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt and a dark tie. He is holding a trumpet and looking directly at the camera with a slight smile. The background is a solid dark color.A black and white portrait of a young man with dark hair, wearing a tuxedo and a white bow tie. He is holding two mallets, one in each hand, and looking directly at the camera with a slight smile. The background is dark and out of focus.A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark tuxedo jacket, a white shirt, and a light-colored bow tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is dark and out of focus.A black and white portrait of a young man with dark hair, wearing a tuxedo and a white bow tie. He is holding two drumsticks in his hands, which are positioned in front of him. The background is a plain, light color.

ライブラリアン
鬼頭 さやか
坂庭 吏映
杉本 哲也

©井村 重人

◎首席奏者 ○副首席奏者 □試用期間

[illegible]

(2025年7月1日現在)

日本フィルの公益活動を応援してください

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものです。

日本フィルも、その一翼を担う存在として、社会的役割をさらに充実させてまいります。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

[個人の寄付で応援する]

詳細は
こちら▶



個人の寄付は税額控除が受けられます！

- 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、税制上、税額控除の優遇措置が受けられます。
- 東京都・杉並区にお住まいの方は個人住民税の寄付金による控除の対象となります。
- 相続により取得した財産の一部または全額を寄付した場合、寄付した財産に相続税が課税されません。

※詳しくは国税庁のサイトをご覧ください。

■ パトロネージュ (個人寄付会員)

寄付 (1口・年額) … ポプラ 3万円／メイプル 5万円／マロニエ 12万円／
エルム 20万円／リンデン 50万円／オーク 100万円

日本フィルの演奏活動、社会貢献活動にご賛同くださる皆様より、ご寄付を会費の形で頂戴する会員制度です。演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。

■ 日本フィルハーモニー協会

寄付 (1口・年額) … 一般会員 5千円／維持会員 2万円／年金会員 2千円 他

「日本フィル協会」は1973年の創設以来、「市民とともに歩むオーケストラ」日本フィルを物心両面で支え、地域で楽団員と協力して行うコンサート作りなどユニークな活動を行ってきました。会員と日本フィルをつなぐ会報紙『市民と音楽(季刊)』がお手元に届くなど特典があります。

■ 遺贈、相続財産のご寄付

自分が亡くなった後の財産や遺産を社会に役立てて欲しいといった尊いご意思に応えるため、日本フィルは遺言によるご寄付(遺贈)や、故人から財産を相続された相続人の皆様からのご寄付を謹んでお預かりして、オーケストラ活動を通じて社会活動に活かしてまいります。

■ オンライン寄付

<https://japanphil.or.jp/support/fundraising>

日本フィルの「被災地に音楽を」ほか、多彩な活動を支えていただくために、温かいご支援を心よりお願いいたします。クレジットカードで簡単にご寄付いただけます。

[法人寄付で応援する (特別会員制度)]

<https://japanphil.or.jp/support/special>

日本フィルの演奏活動や子どもを対象とした教育活動、地域の皆様との音楽を通じた地域貢献活動等にご共感くださる企業・法人の皆様に【特別会員制度】をご案内し、1口36万円のご寄付をお願いしております。幅広い皆様のお力添えにより、芸術性事業・社会性事業の一層の充実を図りたいと願っております。特別会員の皆様には日本フィル定期演奏会のご案内や当団ホームページやプログラム冊子へのご芳名掲載などをご用意しております。

※公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、内閣総理大臣より寄付金控除の対象となる証明を受けております。寄付金のご協力をいただきますと、所定の算式に基づき寄付金が当該事業年度の損金に算入されます。

[コンサートを聴いて応援する]

■ サポートーズクラブ 年会費 1口 1万円

<https://japanphil.or.jp/support/supporter>

音楽に関心をもつ皆様に「日本フィルのサポーター」として、日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。招待券(年間2枚)のプレゼント、日本フィル主催公演チケット優先申込・ご優待(1割引)、会報誌・イベントのご案内などの特典満載。さらにお友達を10人ご紹介いただくと、定期会員券(半期)を進呈いたします。

※ホームページからクレジットカードで直接申込みいただけます。

■ 東京／横浜 定期会員

月に1度のサントリーホール、横浜みなとみらいホールで聴く贅沢な時間。2025/2026シーズンは、S席会員(全6回)の場合、1公演あたり5,700円に! 1回券6回購入と比べると最大40%お得です。

東京／横浜 定期会員 特典

特典① 専用指定席:会場でお客様の専用指定席にて定期演奏会をお楽しみいただけます。

特典② 優先確保:次期シーズンのお席を優先的に確保します。

特典③ チケット振替可能:東京定期／横浜定期間でチケットの振替が可能です。ご都合によりご来場できない場合、東京／横浜定期演奏会を同月内の東京／横浜定期演奏会にお振替いただけます。(一部例外あり)

特典④ 優先申込:日本フィル主催公演を一般発売の1週間前からお申込みいただけます。

特典⑤ 1割引:日本フィル主催公演を1割引でお求めいただけます。(一部公演を除く)

特典⑥ ホテル等飲食割引:開演前・終演後はお近くのホテル(横浜定期:横浜ベイホテル東急)にてくつろぎの時間をお過ごしください。

※サントリーホールでの公演は、公演当日に限りチケット半券で「ANAインターコンチネンタルホテル東京」及び「アークヒルズ」のお得な優待が受けられます。

[グッズを買って応援する]

■ Tシャツ／CD・配信(デジタルリリース)／コラボグッズなど

<https://japanphil.or.jp/goods>

オリジナルTシャツやCD、そのほかコラボグッズなどを販売しています。グッズの収益は日本フィルの演奏活動に役立てています。

詳細は
こちら▶



[クラウドファンディングで応援する]

■ 落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVol.9

<https://readyfor.jp/projects/vol9>

2018年4月のVol.1公演より継続的に、「コンサートの聴き手、支え手、共鳴の輪を広げる」取り組みとしてクラウドファンディングに挑戦してきました。

2025年も、Vol.9公演のための資金調達とファン拡大のためにご支援を呼びかけます。ご支援を通して、日本フィルの新機軸を拓くプロジェクトの仲間になっていただけますと幸いです。

期間:～8月31日まで

プロジェクト
ページ

ご支援の
ページは
こちら▶

